

## 2020年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20210128

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業		
活動名	ごみ減量啓発講座		
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
活動の目的	環境行動の実践者を増やす（家庭ごみの減量）		
実施内容			
活動日時	2021年1月28日(木)10:00~11:00		
活動場所	西区雄踏町 西ヶ崎地区		
活動者名	高根美保,藤田由己		
詳細	<p>私たちの生活ごみを減らす工夫</p> <p>(1)ごみを減らすとどんないいことがあるのか？</p> <p>(2)浜松市のごみ事情</p> <p>(3)雑がみをリサイクルしてごみ減量</p> <p>(4)食品ロスを減らしてごみ減量</p>		
事業の成果	<p>参加者: 35名</p> <p>配布物 ごみ減量リーフレット 30枚、雑がみ啓発クアファイル 30枚、浜松市西部清掃工場資源物集積コーナーチラシ 30枚 雑がみ啓発マグネット 30枚、雑がみ回収袋 30枚、食品ロスメモ帳 30冊 生ごみそのまんまポイッ 60枚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理の歴史や現在の法制度について紹介したところ、興味を持って聞いている方が多かったです。</li> <li>・家庭系ごみに含まれる紙オムツ約8%。今後、増加すると思われるごみであること、現在はリサイクルへの取り組みが行われていることなどを紹介したところ、反響が大きかったです。増えるごみがあれば減らすことが出来るごみがあることを説明。雑がみと食品ロスの削減モデルを紹介しました。</li> <li>・雑がみの出し方では、紙袋の利用だけでなく、大き目の封筒や大き目の広告などの利用。広報はままつを使った袋づくりなども紹介しました。大変興味深く説明を聞いていただきました。</li> <li>・雑がみと出せない紙類の紹介では、出せない理由を回答してくれる方など、積極的に講座に参加していただきました。</li> <li>・食品ロスでは、賞味期限・消費期限の違いやアンケート結果の紹介からすぐにも取り組める冷凍術なども紹介したところ、反響がありました。</li> <li>・最後に、今日から1つでも取り組んでくれる方を募集したところ、全員が参加意思を表明してくれました。</li> </ul> <p>質疑応答</p> <p>Q: ペットフードの缶詰蓋の処理方法 Q: 牛乳パックが開かない場合の対処方法</p> <p>Q: そのまんまポイッの販売先</p>		
事業の課題	雑がみの啓発では、参加者の各家庭から紙類を持参していただき、実際に分別体験を行っていただきたいが、コロナ禍では、難しい状況です。		

## 記録添付

